

- 問1 聖徳太子が小野妹子を隋へ派遣した目的として、当時の日本の政治状況や国づくりの方針を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。
(2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため | 2. 菅原道真の建議に基づき、危険な渡海を伴う外交を縮小するための事前調査を行うため | 3. 大宝律令を完成させるために、中国の法律の専門家を日本に招く交渉を行うため | 4. 卑弥呼がかつて受けた「親魏倭王」のような称号を隋の皇帝から授かり、国内の統治を安定させるため |
|--|--|---|---|
- 問2 6世紀末に中国を統一した王朝であり、聖徳太子が摂政を務めていた607年に、小野妹子らが使者として派遣された先である王朝名として正しいものを選びなさい。
(2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 隋 | 2. 秦 | 3. 宋 | 4. 唐 |
|------|------|------|------|
- 問3 大化の改新を中心となって進めた中大兄皇子は、後に天智天皇として即位し、国内の統治をより強固にするための政策を行いました。その一環として、670年に日本で初めて全国規模で作成された戸籍の名称を選びなさい。
(2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 庚寅年籍 | 2. 大宝律令 | 3. 班田収授法 | 4. 庚午年籍 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問4 7世紀、朝鮮半島では唐と新羅が結んで百済や高句麗を滅ぼしました。日本（倭）は百済の復興を支援するために大軍を送りましたが、663年に朝鮮半島西岸の白村江で大敗しました。この「白村江の戦い」において、日本が戦った相手の組み合わせとして正しいものはどれか、選びなさい。
(2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 唐・新羅の連合軍 | 2. 百済・新羅の連合軍 | 3. 唐・高句麗の連合軍 | 4. 新羅・高句麗の連合軍 |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
- 問5 現在の奈良県明日香村周辺、当時の政治の中心地に建立された日本最古の本格的寺院について、その建立の背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 蘇我馬子が大陸の技師に学んで建立し、瓦葺きの屋根や五重塔を備えた新しい建築様式を日本に定着させた。 | 2. 聖徳太子が建立した世界最古の木造建築物であり、法隆寺とともに飛鳥文化を象徴する寺院である。 | 3. 鑑真が唐から来日した際に建立され、当時の最新の仏教教義を学ぶための国立の寺院として機能した。 | 4. 平氏が権力を握った時代に、瀬戸内海の海上交通の安全を祈願するために大陸の技術を模して造られた。 |
|--|--|---|--|
- 問6 聖徳太子が行った政治改革のうち、「詔（天皇の命令）を受けては必ず謹め」といった記述が含まれ、仏教を敬うことや官吏（役人）が守るべき道徳を示したものはどれですか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|---------|-----------|
| 1. 冠位十二階 | 2. 五箇条の御誓文 | 3. 大宝律令 | 4. 十七条の憲法 |
|----------|------------|---------|-----------|
- 問7 万葉集の中に「大王（天皇）は神でいらっしゃるの、水鳥の集まる湿地を立派な都になさった」という趣旨の歌で称えられた天皇について、その統治の背景として最も適切な説明はどれか。
(2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 仏教による国づくりを目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して、東大寺に大仏を造立した。 | 2. 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。 | 3. 冠位十二階を制定することで、家柄にとらわれず才能のある人物を役人として登用する制度を整えた。 | 4. 大化の改新を断行し、蘇我氏を打倒することで、地方の豪族が支配していた土地と民を直接統治する仕組みを作った。 |
|--|---|---|--|
- 問8 7世紀後半、日本（倭）が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた後、大宰府を防衛するために築かれた「水城」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。なお、水城の構造を示す断面図などの資料によれば、堤防の下には「木樋（もくひ）」と呼ばれる木製の導水路が通っており、大宰府側から博多湾側へと水が流れる仕組みになっていたことがわかっています。
(2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 堤防の内側にあたる大宰府の役所や住宅地へ、博多湾から引き込んだ海水を生活用水として供給するため。 | 2. 大宰府に配備された「防人（さきもり）」が、緊急時に地下を通して博多湾側へ移動するための避難路とするため。 | 3. 唐と百済の連合軍が博多湾から攻めてきた際に、堤防を意図的に決壊させて敵を押し流すため。 | 4. 堤防の外側にあたる博多湾側に掘られた堀に、内側から水を供給して水位を保ち、敵の侵入を防ぐため。 |
|---|---|--|--|
- 問9 舒明天皇や皇極天皇の流れを汲む天皇家において、中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌足が大化の改新を進めた後の時代に起きた「壬申の乱」の説明として正しいものはどれか。
(2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。 | 2. 後白河法皇の後継者問題をめぐり、源氏と平氏が対立して京都で発生した大規模な戦乱。 | 3. 唐・新羅の連合軍に敗北したことをきっかけに、国内の防衛体制を整えるために起きた争い。 | 4. 蘇我氏の独裁的な政治に不満を持った皇族たちが、宮中で蘇我入鹿を暗殺した事件。 |
|--|---|---|---|
- 問10 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇の摂政として政治を行っていた時期に定められた「冠位十二階」の制度について、その目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2019年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 戸籍を作成して人々に土地を割り当て、税の徴収を確実にするため | 2. 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため | 3. 仏教の教えを政治の基本とし、国民全体の道徳を高めるため | 4. 有力な豪族に対し、代々特定の役職に就く特権を認めるため |
|-----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問11 7世紀後半、律令に基づく中央集権的な国家体制を整える過程で鑄造された、わが国最初の銅銭として正しい名称を選択肢から選びなさい。
(2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 富本銭 | 2. 寛永通宝 | 3. 無文銀銭 | 4. 和同開珎 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問12 大化の改新から始まった中央集権国家への移行は、701年の大宝律令の制定によって一つの完成を見た。この「律令国家」において、政治の基本的な仕組みとして導入された、土地と民衆を国家が直接支配する制度の考え方を何と呼ぶか。
(2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 寄進地系荘園 | 2. 地租改正 | 3. 班田収授 | 4. 公地公民 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問13 7世紀後半、日本（倭国）は朝鮮半島の西南部に位置する地域へ大規模な軍隊を派遣し、唐・新羅の連合軍と衝突しました。この戦いが起こった直接的な目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 新羅と軍事同盟を結び、半島北部の高句麗を制圧するため | 2. 九州北部を襲撃した刀伊と呼ばれる集団の正体を突き止めるため | 3. 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため | 4. 博多に侵攻してきた元の軍隊を、朝鮮半島の拠点で迎え撃つため |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中国の進んだ制度や文化を直接取り入れ、天皇を中心とする中央集権的な国づくりを進めるため	当時の日本は、豪族が強い勢力を持つ体制から、天皇を中心とした組織的な国家への転換を目指していました。冠位十二階や十七条の憲法の制定と並行して行われた遣隋使の派遣は、中国の官僚制や仏教精神を学ぶことで、強力な国家体制を築くための重要な手段でした。なお、大宝律令は8世紀、遣唐使の停止（菅原道真の建議）は9世紀の出来事であり、卑弥呼は3世紀の人物です。
問2	答え 1 隋	589年に中国を統一した隋に対して、聖徳太子は小野妹子を遣隋使として派遣しました。これは当時の先進的な文化や制度を直接取り入れ、国力を高める目的がありました。遣隋使はその後、隋が滅びて唐が成立するまで数回にわたり派遣されました。
問3	答え 4 庚午年籍	中大兄皇子（天智天皇）は、公地公民の原則に基づき、民衆を直接支配するために日本初の全国的な戸籍である庚午年籍を作成しました。これにより、それまで氏族ごとに管理されていた民衆を国家が把握できるようになり、税の徴収や徴兵の基礎が作られました。これに続く持統天皇の時代の庚寅年籍によって、戸籍制度はさらに定着することになります。
問4	答え 1 唐・新羅の連合軍	660年に唐と新羅の連合軍によって百済が滅ぼされた際、日本は百済の遺民から救援を求められました。中大兄皇子（後の天智天皇）はこれに応じ、朝鮮半島へ大軍を派遣しましたが、白村江（現在の韓国の錦江河口付近）において唐・新羅の圧倒的な水軍の前に敗北を喫しました。これにより百済復興の望みは絶たれることとなりました。
問5	答え 1 蘇我馬子が大陸の技師に学んで建立し、瓦葺きの屋根や五重塔を備えた新しい建築様式を日本に定着させた。	この寺院は、百済（朝鮮半島）などから招かれた瓦職人や寺工といった専門技師たちの指導によって造られました。それまでの古墳築造に代わり、寺院の建立が権力者の新たな権威の象徴となり、日本の建築技術を大きく飛躍させるきっかけとなりました。
問6	答え 4 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、日本最初の成文法としての性格を持っていますが、現代の法律とは異なり、役人が政治を行う上での「心得」を説いたものです。同じく聖徳太子の政策である冠位十二階は「個人の才能を評価する制度」であり、この憲法とあわせて天皇中心の政治を支える基盤となりました。
問7	答え 2 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。	天武天皇は壬申の乱での勝利を通じて、それまでの有力豪族による合議制的な政治から、天皇が絶対的な権力を持つ政治へと転換させました。万葉集の歌は、その強大な権力を「神」と表現して称賛したものです。彼はこの権力に基づき、飛鳥浄御原令の編纂や、のちの平城京へとつながる官僚機構の整備に着手しました。
問8	答え 4 堤防の外側にあたる博多湾側に掘られた堀に、内側から水を供給して水位を保ち、敵の侵入を防ぐため。	白村江の戦いでの敗北を受けた日本は、唐や新羅の軍が九州へ侵攻してくることを強く警戒しました。大宰府の北側に築かれた全長約1.2kmもの巨大な堤防である「水城」には、博多湾側（外側）に水堀が設けられていました。地下を通る「木樋」は、大宰府側（内側）からの水をこの堀へと計画的に流し込み、水位を維持することで、敵が容易に堤防を越えられないようにする防御システムの要でした。選択肢に「百済」が含まれるものは、当時の日本が百済を救援する立場であったため誤りです。
問9	答え 1 天智天皇の弟である大海人皇子が、天皇の息子である大友皇子を倒して実権を握った争い。	壬申の乱は、天智天皇の死後にその弟である大海人皇子と、後継者とされていた息子の大友皇子の間で起きた、古代最大の内乱です。この争いは、天智天皇が進めた近江大津宮での政治に対する地方豪族の不満なども背景にあり、最終的に吉野で挙兵した大海人皇子が勝利しました。これにより、勝利した天武天皇による強力な天皇専制政治が実現することとなりました。
問10	答え 2 家柄にとらわれず、能力や功績のある人物を役人に登用するため	それまでの日本の政治では、特定の氏族が代々決まった役職を引き継ぐ「氏姓制度」が中心でしたが、聖徳太子は個人の實力を重視するこの制度を導入しました。これにより、天皇に従順で有能な人材を役人として集め、天皇中心の国づくりを進める狙いがありました。選択肢にある土地の割り当ては、後の「班田収授法」の内容です。
問11	答え 1 富本銭	長らく708年に発行された和同開珎が日本最古の貨幣とされてきましたが、近年の飛鳥池遺跡などの発掘調査により、7世紀後半の天武天皇の時代に「富本銭」が鑄造されていたことが判明しました。これは、当時の政府が唐の制度にならって国家の威信を示し、律令国家としての体裁を整える目的があったと考えられています。
問12	答え 4 公地公民	大化の改新の詔（みことのり）で示された最も重要な方針が、それまで豪族が私有していた土地や民を国家のものとする「公地公民」である。この方針は壬申の乱を経て強化され、大宝律令に基づく戸籍の作成や班田収授法の実施によって具体化された。これにより、国家が民衆から直接税（租・庸・調）を徴収する仕組みが確立した。
問13	答え 3 友好関係にあり、当時滅亡していた百済の復興を支援するため	飛鳥時代の663年、日本は友好国であった百済の復興を助けるために大軍を派遣しましたが、唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで大敗しました。この敗北を受け、日本は唐・新羅による本土侵攻を恐れ、大宰府の北側に水城を築いたり、各地に朝鮮式山城を作ったりして防衛体制を急いで整えることとなりました。選択肢にある「元」や「刀伊」は、それぞれ鎌倉時代や平安時代の中期の出来事であり、時代背景が異なります。